

公益財団法人日本バレーボール協会 2021 年度臨時評議員会 議事概要

日 時：2022 年 2 月 15（火）15:00～17:00

会 場：JVA 会議室を開催場所とする WEB 会議

決議事項

第 1 号議案 評議員選定に関するガイドラインの改定について

議事の経過の要領及びその結果

評議員会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、リモート（WEB）開催方式とした。採決方法は、投票以外は Zoom アプリケーション内の「挙手」機能を使用することの確認がとられた。

(1) 評議員選定に関するガイドラインの改定について

村上事務局長代行より、評議員選定に関するガイドラインの改定について以下の説明があり、賛否を諮り承認可決された。

冒頭、令和 3 年度スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査の結果についての報告があった。結果は「適合」という評価を受け、ガバナンス強化の好事例として、「組織の存続に向けた具体的な危機感に伴い、明確な数値目標が定められている点」、「代表選手の選考過程のみならず、チームスポーツでありながら選手基準もできる限り明確にしているとともに、選考に漏れた選手への理由の開示まで可能となっており、基準の明確化と説明責任を果たそうとしている点」が挙げられた。要改善事項の該当はなかったものの、申し送り事項としてビーチバレーボール国際大会でのキャンセル申請・不適切処理についての事案が発生したことで、再発防止に向けた「コンプライアンス強化のための教育実施」や「通報体制の構築」および「危機管理及び不祥事対応体制の構築」について改善要望があった。

2022 年 1 月 13 日に開催された定例理事会にて、スポーツ団体ガバナンスコードの審査項目 5 [原則 2] に「組織の役員及び評議員の構成等における多様性の確保」と、「外部評議員（外部理事については 25%以上）及び女性評議員の目標割合（女性理事については 40%以上）を設定し、達成に向けた具体的な方策を講じること」が掲げられていることから、「評議員の選定に関するガイドライン」に評議員構成比（属性・人数目安）を設定するために第 6 条（候補者の選定）の項目追加を評議員会に提案することが決定された為、本日審議の上、承認願いたい。

評議員の選定に関するガイドライン（追加項目抜粋）

（候補者の選定）

第6条 候補者リストから選定する場合は、次の各号に掲げる人数を目安として選定する。

- | | |
|-------------------|----------------|
| （1）都道府県協会からの推薦候補者 | 14名（うち女性は4名以上） |
| （2）全国連盟からの推薦候補者 | 4名（うち女性は2名以上） |
| （3）外部評議員の候補者 | 7名（うち女性は4名以上） |

（附則）

- 1 このガイドラインは、2018年6月13日から施行する。
- 2 このガイドラインは、2022年1月13日から施行する。

報告事項

（1）処分に関する現状報告について

河本会長代行より処分に関する現状報告について、以下の通り行われた。

1月14日に開催された評議員懇談会にて評議員からの意見を受けて、1月28日に私が会長代行として、会員、ファン、選手、関係団体他、関係者の皆様に向けてホームページ上でお詫びした。現在、事務局職員の処分に関して手続き進行中のものがあり、本人からは意見書が提出され、それを基に処分検討委員会がヒアリングを実施し、2月8日に開催された検討委員会で処分案が決定されたところまで進んでいる。

（2）新体制検討委員会について

河本会長代行より新体制検討委員会について、以下の通り行われた。

新体制検討委員会でのミッションは会長候補を見据えながらの「理事候補の選定」と、「次期体制の構築」の検討を行う。

委員会メンバーについては、外部委員を含めた方が良いとの声もあったが、理事の中でも多様なバックグラウンドを意識して選定を行うことで、外部の視点は反映できると考え、松下副会長、村上事務局長代行、灰西業務執行理事、小縣理事、鬼頭理事、原田理事、國分理事、菊地監事と私、河本（会長代行）の9名で構成され、会議は非公開で進めている。

まずは理事（会長）候補者を検討するにあたり、業務執行理事の役割、バレーボール協会に必要な会長の能力や識見について、役割と関連させながらイメージ像について議論した。また、他競技団体（ハンドボール、バスケット、サッカー協会）にヒアリングを行い、組織

を回していく際に必要な注意点やガバナンス運営体制について意見交換した。

委員会での会議は既に計3回実施しており、3月17日の定例理事会で理事候補者の検討案を理事会に諮り、3月18日の臨時評議員会にて選任頂きましたら、速やかに臨時理事会を開催し、会長（専務理事の設置有無等も含め）新執行体制を確定させ、4月1日からの始動を目指している。検討委員会では現組織の中で何が欠けているのか、第三者委員会の調査報告書での指摘も踏まえながら議論されており、新体制に移行した後にも、ここでの議論を繋げていけるようにしたい。

(3) 東京五輪の総括および今後の大会スケジュールについて

矢島ハイパフォーマンス事業本部長と牛尾ビーチバレーボール強化部長よりそれぞれ東京五輪の総括および今後のスケジュール報告がなされた。

※東京五輪の大会報告ならびに日程表は資料記載の通り。

予定していた全ての議事・報告が終了し、議長は17:00に閉会を宣した。